

地藏菩薩御和讃

作詞
赤月仙
作曲
松山大遊

♩=45位 いつくしみの心を以て

(頭) イロ ツヤ
 つゆしもーしーげき のの一みーちーにー^{1.}
 鈸(右手) 4
 鈴(左手) 4
 ちこちのを一ぱーしーたいのはくはるーをーみーいー^{2.}
 3. ちこちのよーのーきよう(オ)ーはくはるーしーみーいー

ツヤ
 ほほえむすーがーたあたーたかーくー^{1.}
 せわつーなみきのこーえーすーにーたかずーねしゆーくー^{2.}

ツヤ
 みてらーのーんーのーあるーとーろー^{1.}
 おーさいなーきーこーらーをーひーきーよーせーばー^{2.}

ツヤ
 えーがーおーあーかーるーくーおーわーしーまーすー^{1.}
 つたつーのーむーこーろーもーのーじーひーのーそーでー^{2.}

(三) この世の今日の苦しみも
 我が身のあすの悲しみも
 代受のちかい深ければ
 たのむ心にかけはなし

(二) 父をば慕い母を恋い
 切なき声に尋ねゆく
 幼き児らをひきよせて
 つつむ法衣の慈悲の袖

(一) 露霜しげき野の路に
 ほほえむ姿あたたかく
 御寺の門のあるところ
 笑顔明るくおわします

地藏菩薩御和讃